

公表

児童発達支援 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートやまぐち		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 21日 ~ 令和7年 12月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 21日 ~ 令和7年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・（こども及び保護者）の満足度	・児童の困りごとや保護者のニーズについて都度確認し、個別の絵カードスケジュールの他に、児童が好きなキャラクターや生き物等のイラストを添えた視覚支援カードを作成している。 ・保護者との個別LINEでお子さまの活動の様子等をお知らせしたり、保護者の声に丁寧に対応している。	・保育園や幼稚園訪問がまだできていない児童については、相談支援員とも連携して、訪問の機会を持ちたい。
2	・清潔で心地よく過ごせる生活空間 ・子どもたちの活動に合わせた空間	・毎朝、二人組での車輪チェックや、安全チェック ・毎日の清掃や消毒を、チェック表を作成して見える化し、漏れの無いよう実施している。	・安全面、清潔面にプラスして、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境づくりに努める。 ・新たに作成した療育グッズや、活動グッズが増えていくので、取り出しやすいように整理する。
3	・職員間の意思疎通ができている。 ・職員間の連携が取れている。	・毎朝のミーティングや、夕方送迎後の気付きについての話し合いがスムーズにできている ・毎朝のミーティングの進行を全職員が交代で行っている。	・新たに増員した職員も意見を発しやすい雰囲気を保ちながら、自信を持って経験を積めるよう、サポートしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や行事予定表で避難訓練についてお知らせしているが、非常時マニュアルや緊急時の対応について更多的な周知が必要である。	・事業所玄関にどなたでも見られるファイルがあることを再度お知らせしていない。	・年に一度は、非常時マニュアルや緊急時の対応について保護者にお知らせしていく。 ・避難訓練だけでなく、感染症等の研修や訓練等を定期的に実施していることも知って頂く。
2			
3			

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価総括表

○事業所名	チャイルドハートやまぐち		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 21日 ~ 令和7年 12月 19日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 21日 ~ 令和7年 12月 12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・(子ども及び保護者)の満足度	・子どもたちが楽しみながら運動や活動に参加し、様々な経験をして自信をつけていけるようプログラムを考えている。 ・保護者との個別LINEでお子さまの活動の様子等をお知らせしたり、保護者の声に丁寧に対応している。	・自立に向けて、身の回りのことでできることが増えよう、更に工夫して機会をつくる。
2	・清潔で心地よく過ごせる生活空間 ・子どもたちの活動に合わせた空間	・毎朝、二人組での車輪チェックや、安全チェック ・毎日の清掃や消毒を、チェック表を作成して見える化し、漏れの無いよう実施している。	・安全面、清潔面にプラスして、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境づくりに努める。 ・新たに作成した療育グッズや、活動グッズが増えていくので、取り出しやすいように整理する。
3	・職員間の意思疎通ができている。 ・職員間の連携が取れている。	・毎朝のミーティングや、夕方送迎後の気付きについての話し合いがスムーズにできている。 ・毎朝のミーティングの進行を全職員が交代で行っている。	・新たに増員した職員も意見を発しやすい雰囲気を保ちながら、自信を持って経験を積めるよう、サポートしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者会や行事予定表で避難訓練についてお知らせしているが、非常時マニュアルや緊急時の対応について更多的な周知が必要である。	・事業所玄関にどなたでも見られるファイルがあることを再度お知らせしていない。	・年に一度は、非常時マニュアルや緊急時の対応について保護者にお知らせしていく。 ・避難訓練だけでなく、感染症等の研修や訓練等を定期的に実施していることも知って頂く。
2			
3			

公表

児童発達支援 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハートやまぐち	公表日	令和8年 2月 3日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・広いブレイルームを含め部屋数もあるので、運動する部屋、学習や制作に集中する部屋、気持ちを落ちさせたり休養する部屋の確保が出来ている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・十分確保できている。 ・既定の配置基準を順守している。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	・2階建ての造りになっており、階段の昇降があるので、職員帯同という取り決めにしている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	・毎日の環境管理は掃除チェック表を作成して実施し、机や椅子、手すり、支援道具等の消毒もしている。 ・児童が来所する前に再度安全点検をしている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・気持ちを落ちさせたい等、個別の場所に移動した方が良い時は、安全の為、職員帯同にて個別の部屋を使用できる。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		・毎朝のミーティングで情報共有をし、課題についても明確化している(ノートに記録)。また、休みの職員は、必ずノートを確認している。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・アンケートを全職員で共有し、良い所は引き続き徹底し、改善が必要な点については、代替え案を含め、検討している。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎日のミーティングを欠かさない。また、管理者は普段から全職員が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2	・苦情担当窓口(責任者)を設置している。 ・定期的に本部からの事業所評価や点検を受けている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・本部研修や外部研修に参加し、全職員に研修報告で周知している。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・ホームページにて支援プログラムを公表している。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		・日々の記録も確認しながら、計画期間毎にモニタリングを行い、ひとりひとりに沿った個別支援計画書を作成している。 ・個別面談等で保護者の意向も取り入れている。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援を皆で行っている。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・個別支援計画は、職員に共有されており、朝のミーティングで計画に沿った1日の活動予定を職員間で共有している。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1	・標準化された書式を使用している。 ・日々の行動観察や記録の書き方について、全職員が共通理解を持てるよう再度周知する。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・定期的にアセスメントを行った上で、利用者本人や保護者のニーズの合わせた個別支援計画書を作成している。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・職員全体でアイデアを持ち寄り、全員で活動プログラムを作成している。 ・話し合いの時間がしっかり設けられている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・職員個々に情報収集し、活動の質を高めることを意識しながら状況に応じて変化をつけています。 ・長期休み等は消防署や警察・博物館見学等、地域資源も活用している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		・子どもの発達段階に応じた個別、小集団における課題を見つける、個別支援計画書に反映させている。また、その内容について毎月・毎週・毎日の話し合いで確認している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・活動内容や進め方について、事前に全職員で確認し、内容によってはシミュレーションしてみて改善しながら支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・その日気になったことは、その日の内に報告している。また、送迎の関係等で職員が揃わなかった時には、翌朝に周知、反映している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・当日の夕方または、翌朝には、支援の記録をして、支援内容を振り返り、支援計画に反映している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・保護者個人面談ができる限り実施し、学校や他事業所での様子を共有しながら、半年に一度のモニタリングを行い、見直しを図っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・体制を整えている。その上で、契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を伺い、連携の体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・幼稚園や保育園など、在籍の園との併行通園や移行に向けて、相談支援員と連携を取りながら、利用時間や曜日の調整と支援を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		・保護者や相談支援員を通じて情報収集を行っている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		・今後、地域の中で交流できる施設があるか等を確認し、様々な機関や施設との繋がりを作っていくよう思案していく。ただ保護者より「感染症が心配」とのご意見もあるので、時期などについては考慮する。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・送迎時や個別の連絡ツールで知り得た事案については、児発管にその都度伝え、日々のミーティング等で周知している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	・適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、質問等あれば丁寧に応えている。 ・定期的に保護者会や面談を開いている。	・昨秋の保護者会は好評だったので、今後保護者の意向を確認し、家族の参加できる研修等、家族支援プログラムの実施を検討したい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・面談や担当者会議が良い機会となっている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		・お迎え時に合わせて時間を作つて頂いたり、個別支援計画書の切り替え時に面談を行つてはいる。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行つてはいるか。	9		・保護者の方々には、ちょっとしたことでも、LINE等で連絡できるようお伝えしている。また、丁寧な返信を心掛けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援を行つてはいるか。	9		・保護者会は、年に一度開催している。 ・今年度は、スヌーズレン体験のイベントと併せて保護者会を開催し、イベントには、兄弟児も参加され、楽しい交流の場となつた。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・保護者の方々は、Heartlinkや個別LINE等でご相談されている。ご相談に対しては、迅速かつ丁寧な返信を心掛けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・定期的にSNSを更新している。 ・個別LINEにて行事や活動の写真を添付したり、情報を発信している。	・2月より、紙ベースのお便りを復活した。今後更に内容も充実させたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・個人情報は、鍵付き書庫に保管している。 ・個人情報の含まれる書類の廃棄は、シュレッダーをかけている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・視覚支援、わかりやすい声掛けをする等の配慮をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図つてはいるか。	5	4	・今のところ、行事に地域住民を招待したことは無いが、児童の収穫体験で採れた野菜をご近所にお裾分けするなどしている。	・地域の方に知って頂き、万が一の避難時等に協力していただけるような発信はしていければと考えている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・マニュアルに基づいて、火災、水害、地震、不審者対策の訓練を計画し、隔月で訓練を実施している。	
非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行つてはいるか。	9		・BCPを策定し、災害・感染症の研修や訓練を定期的に実施している。 ・非常食や非常時の飲料水、避難グッズも揃え、年度初めには賞味期限等の点検をしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・契約時に確認し、対応について保護者の方から書面で確認し、職員が見える場所に保管し、周知している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		・契約時に知り得た情報を共有している。 ・クッキングの前にはその都度確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・毎年安全計画を更新し、定期的な本部研修を受講するとともに、安全管理について話し合う機会を設けている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・保護者会で報告しており、不参加の方には、報告のお便りを配布した。	・更に細やかな報告を検討していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・職員各々が危険に対してアンテナを張り、気づきを記したヒヤリハットについては、当日か翌朝のミーティングで検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・定期的に委員会を開いたり、本部研修を受講し、職員同士、再確認している。 ・虐待アンケートも実施し、意識している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		・アセスメント時に説明している。	

公表

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果

事業所名	チャイルドハートやまぐち	公表日	令和8年 2月 3日	
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	
1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		・広いプレイルームを含め部屋数があるので、運動する部屋、学習や制作に集中する部屋、気持ちを落ちかせたり休養する部屋の確保が出来ている。	
2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		・十分確保できている。 ・既定の配置基準を順守している。	
3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・2階建ての造りになっており、階段の昇降があるので、職員帯同という取り決めにしている。	
4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・毎日の環境管理は掃除チェック表を作成して実施し机や椅子、手すり、支援道具等の消毒もしている。 ・児童が来所する前に再度安全点検をしている。	
5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・気持ちを落ち着けたい等、個別の場所に移動した方が良い時は、安全の為、職員帯同にて個別の部屋を使用できる。	
6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	2	・毎朝のミーティングで情報共有をし、課題についても明確化している（ノートに記録）。また、休みの職員には、必ずノートを確認している。	
7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・アンケートを全職員で共有し、良い所は引き続き徹底し、改善が必要な点については、代替え案を含め、検討している。	
8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎日のミーティングを欠かさない。また、管理者は普段から全職員が意見を出しやすい雰囲気づくりに努めている。	
9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3	・苦情担当窓口（責任者）を設置している。 ・定期的に本部からの事業所評価や点検を受けている。	・現在のところ、第三者による評価は実施していない。
10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		・本部研修や外部研修に参加し、全職員に研修報告で周知している。	
11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・ホームページにて支援プログラムを公表している。	
12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		・日々の記録も確認しながら、計画期間毎にモニタリングを行い、ひとりひとりに沿った個別支援計画書を作成している。 ・個別面談等で保護者の意向も取り入れている。	
13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・子どもたちの日々の様子を職員間で共有し、課題に応じた支援を皆で行っている。	
14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		・個別支援計画は、職員に共有されており、朝のミーティングで計画に沿った1日の活動予定を職員間で共有している。	
15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	・標準化された書式を使用している。	・日々の行動観察や記録の書き方について、全職員が共通理解を持てるよう再度周知する。
16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		・定期的にアセスメントを行った上で、利用者本人や保護者のニーズの合わせた個別支援計画書を作成している。	
17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・職員全体でアイデアを持ち寄り、全員で活動プログラムを作成している。 ・話し合いの時間がしっかりと設けられている。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		・職員個々に情報収集し、活動の質を高めることを意識しながら状況に応じて変化をつけている。 ・長期休み等は消防署や警察・博物館見学等、地域資源も活用している。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		・子どもの発達段階に応じた個別、小集団における課題を見つけ、個別支援計画書に反映させている。また、その内容について毎月・毎週・毎日の話し合いで確認している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・活動内容や進め方について、事前に全職員で確認し、内容によってはシミュレーションしてみて改善しながら支援している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・その日気になったことは、その日の内に報告している。また、送迎の関係等で職員が崩わなかつた時には、翌朝に周知、反映している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・当日の夕方または、翌朝には、支援の記録をして、支援内容を振り返り、支援計画に反映している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		・保護者個人面談ができる限り実施し、学校や他事業所での様子を共有しながら、半年に一度のモニタリングを行い、見直しを図っている。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9		・個別支援計画に基づき、子どもたちが主体的に安心して過ごせる環境づくりをし、自立と社会参加を促進するための支援を行っている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・子どもたち個々に寄り添い、自立と自己肯定感を育めるよう努めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		・体制を整えている。その上で、契約時に希望があれば、医療機関等の連絡先を伺い、連携の体制を整えている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・保護者を通じて個別LINE等で学校行事や下校時間の確認をしている。また学校にお迎えの際、学校との情報共有をしている。 ・相談支援員とも情報共有している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		・相談支援員を通じて、担当者会議を開く等して、情報共有し、後の支援に生かしている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	8		・今のところ該当例がないが、支援内容の情報を提供できる体制は整っている。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	2	・児童発達支援センターとの情報交換も行っており、研修があれば、管理者が参加している。	・研修の機会には、体制が整えば複数名で参加したい。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5		・今後、地域の中で交流できる施設があるか等を確認し、様々な機関や施設との繋がりを作りたいといふよう思案していく。ただ保護者より「感染症が心配」とのご意見もあるので、時期などについては考慮する。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・送迎時や個別の連絡ツールで知り得た事案については、児発管にその都度伝え、日々のミーティング等で周知している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	2	・適時、電話やLINEなどで情報共有を行い、質問等あれば、その場で応えている。 ・定期的に保護者会や面談を開いている。	・昨秋の保護者会は好評だったので、今後保護者の意向を確認し、家族の参加できる研修等、家族支援プログラムの実施を検討したい。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		・契約時に説明を行っている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		・面談や担当者会議が良い機会となっている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		・お迎え時に合わせて時間を作つて頂いたり、個別支援計画書の切り替え時に面談を行っている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		・保護者の方々には、ちょっとしたことでも、LINE等で連絡できるようお伝えしている。また、丁寧な返信を心掛けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9		・保護者会は、年に一度開催している。 ・今年度は、スヌーズレン体験のイベントと併せて保護者会を開催し、イベントには、兄弟児も参加され、楽しい交流の場となった。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		・保護者の方々は、Heartinkや個別LINE等で相談されている。ご相談に対しては、迅速かつ丁寧な返信を心掛けている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		・定期的にSNSを更新している。 ・個別LINEにて行事や活動の写真を添付したり、情報を発信している。	・2月より、紙ベースのお便りを復活した。今後更に内容も充実させたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		・個人情報は、鍵付き書庫に保管している。 ・個人情報の含まれる書類の廃棄は、シュレッダーをかけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		・視覚支援、わかりやすい声掛けをする等の配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	・今のところ、行事に地域住民を招待したことは無いが、児童の収穫体験で採れた野菜をご近所にお裾分けするなどしている。	・地域の方に知って頂き、万が一の避難時等に協力していただけるような発信はしていければと考える。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		・マニュアルに基づいて、火災、水害、地震、不審者対策の訓練を計画し、隔月で訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		・BCPを策定し、災害・感染症の研修や訓練を定期的に実施している。 ・非常食や非常時の飲料水、避難グッズも備え、年度初めには賞味期限の点検をしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		・契約時に確認し、対応について保護者の方から書面で確認し、職員が見える場所に保管し、周知している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・契約時に知り得た情報を共有している。 ・クッキングの前にはその都度確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		・毎年安全計画を更新し、定期的な本部研修を受講するとともに、安全管理について話し合う機会を設けている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		・保護者会で報告しており、不参加の方には、報告のお便りを配布した。	・更に細やかな報告を検討していきたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		・職員各々が危険に対してアンテナを張り、気づきを記したヒヤリハットについては、当日か翌朝のミーティングで検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		・定期的に委員会を開いたり、本部研修を受講し、職員同士、再確認している。 ・虐待アンケートも実施し、意識している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行ふかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		・アセスメント時に説明している。	